

コラム 各設問同士の相関関係に関する調査結果

令和5年度市民意識調査においては、新たに行動満足度についての項目を追加し、実施した。本章では、主要な行動満足度と各設問の相関関係を把握するため、相関係数を算出して、分析を試み、その結果を次ページ以降に示している。

《相関係数とは》

相関係数とは、二つの変数の関係を表す係数。

直線的な関係(比例関係)の強さを、1 から-1 の間の数で表す。相関係数の絶対値が1に近いほど、相関関係が強くなるが、以下のように解釈される場合が多い。

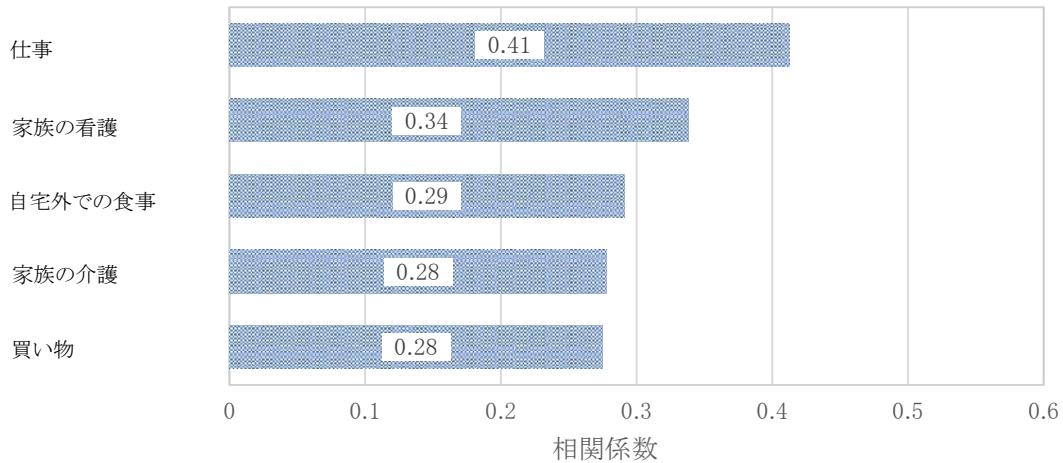
相関係数(r)	相関の強さ	相関係数(r)	相関の強さ
$0.7 \leq r \leq 1$	強い正の相関	$-0.4 < r \leq -0.2$	弱い負の相関
$0.4 \leq r < 0.7$	正の相関	$-0.7 < r \leq -0.4$	負の相関
$0.2 \leq r < 0.4$	弱い正の相関	$-1 \leq r \leq -0.7$	強い負の相関
$-0.2 < r < 0.2$	ほとんど相関がない		

(注意事項)

- 相関係数はいくつかの方法により算出することができるが、ここでは通常用いられるピアソンの相関係数により算出する。
- 設問における選択肢は順位尺度となるが、その値の差が等しい間隔尺度として仮定した上で、相関係数を算出している。
- すべての相関係数は、1%水準で(偶然に相関関係がみられてしまう確率が1%未満であるということ、すなわち、99%以上の確率で偶然ではないということ。)なものを示している。
- 「1 幸福度との相関関係(P112)」
相関関係を算出する際、「設問55～66」について、「1(不満)」、「2(やや不満)」、「3(どちらともいえない)」、「4(やや満足)」、「5(満足)」のいずれかを回答した人を対象としている。
- 「2 行動満足度との相関関係(P113～114)」
相関関係を算出する際、「設問55、57、62、63」について、「1(不満)」、「2(やや不満)」、「4(やや満足)」、「5(満足)」のいずれかを回答した人を対象としている。また、「設問27～54」については次のように点数化し、相関係数を算出する。「1(思う)」…5点、「2(どちらかといえば思う)」…4点、「3(どちらともいえない)」…3点、「4(どちらかといえば思わない)」…2点、「5(思わない)」…1点

1 幸福度との相関係数

「幸福度」(設問 1)と行動満足度(設問 55~66)との相関関係を算出した結果、上位 5 項目は以下の通りとなった。



相関係数が一番高い項目は、「仕事(0.41)」となり、唯一相関のみられる項目となった。

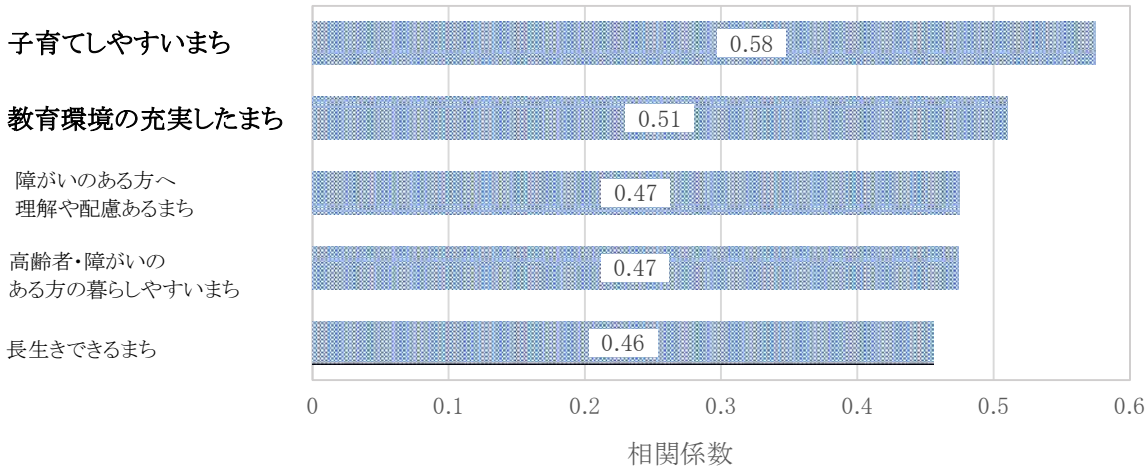
次いで、「家族の看護(0.33)」、「自宅外での食事(0.29)」、「家族の介護(0.27)」、「買い物(0.27)」となったが、いずれも弱い相関となった。

「仕事」は生活に占めるウェイトが高いため、幸福度との相関が表れたと思われる。しかし、他の行動満足度との相関は弱く、ある特定の行動満足度が高くなれば、幸福度も高くなるのではなく、総合的な満足度が、幸福度やその他総合的評価に繋がっていくのではないかと考えられる。

2 行動満足度との相関係数

子育て

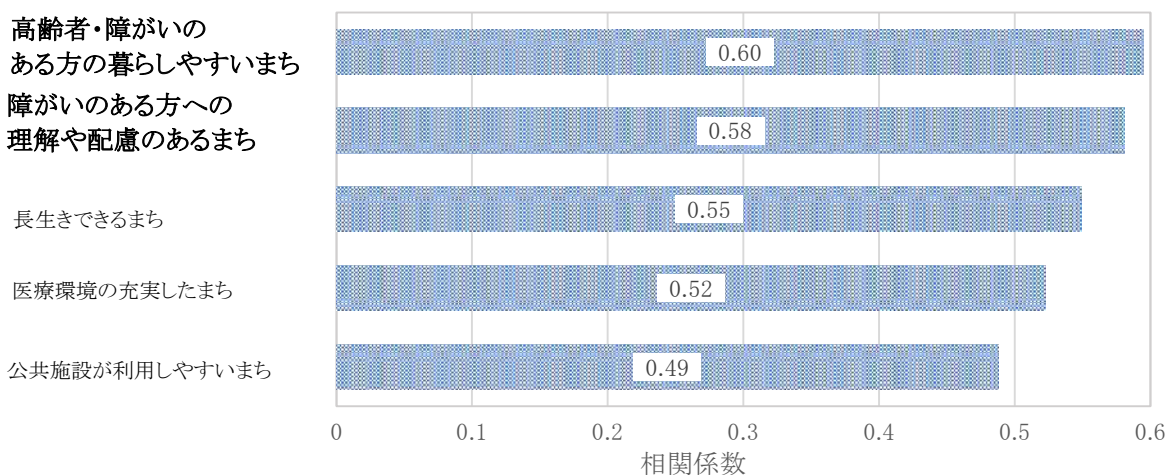
子育ての満足度(問 55)とまちづくり評価に関する各設問(問 27~54)との相関係数を算出した結果、上位 5 項目は以下の通りとなった。



相関係数が最も高い項目は、「子育てしやすいまち(0.58)」、次いで「教育環境の充実(0.51)」となり、関係する分野のまちづくり評価の項目に最も相関がみられた。

介護・障がいサービス

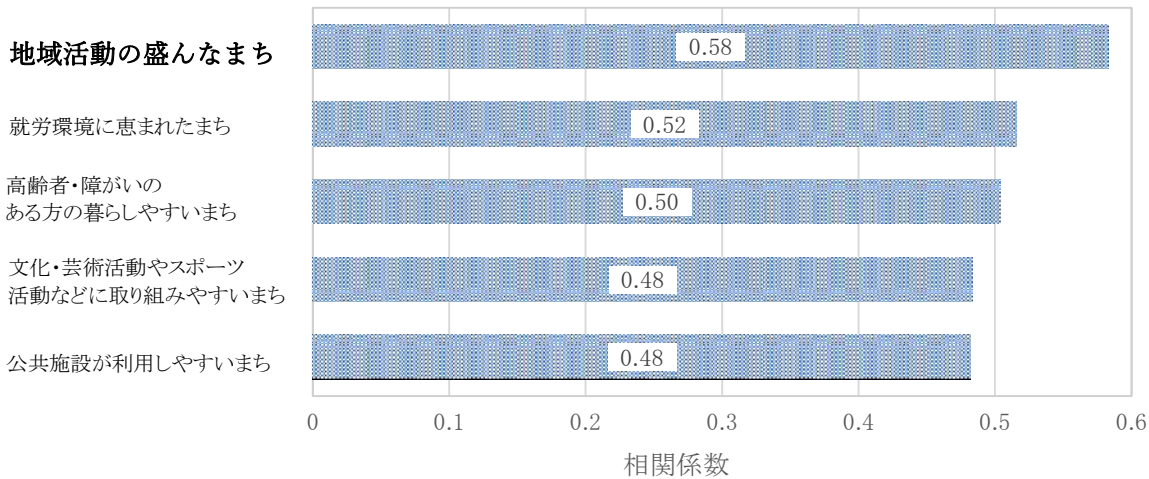
介護・障がいサービスの満足度(問 57)とまちづくり評価に関する各設問(問 27~54)との相関係数を算出した結果、上位 5 項目は以下の通りとなった。



相関係数が最も高い項目は、「高齢者・障がいのある方にとって暮らしやすいまち(0.60)」、次いで「障がいのある方への理解や配慮のあるまち(0.58)」となり、関係する分野のまちづくり評価の項目に最も相関がみられた。

地域とのつながりある活動

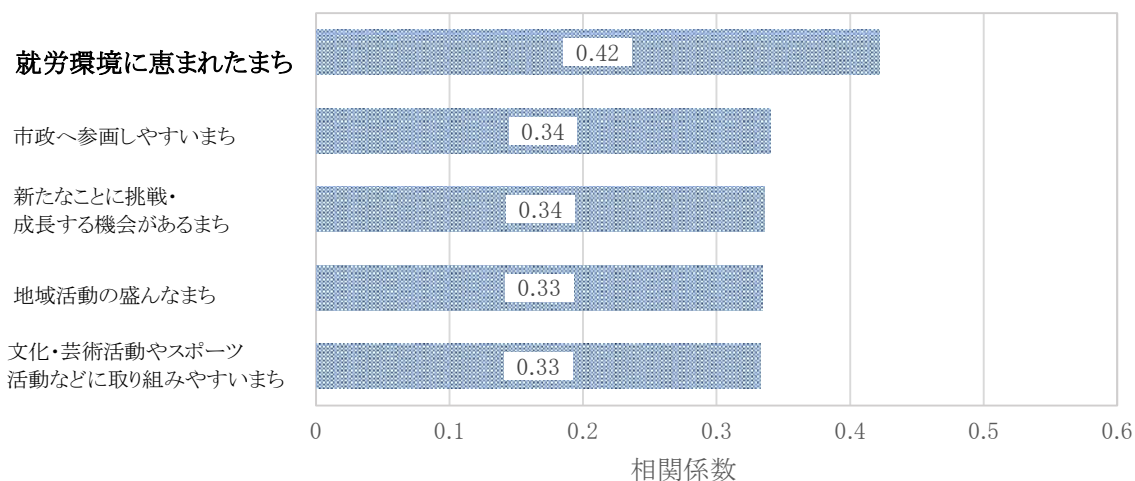
地域とのつながりある活動の満足度(問 62)とまちづくり評価に関する各設問(問 27~54)との相関係数を算出した結果、上位 5 項目は以下の通りとなった。



相関係数が最も高い項目は、「自治会などの地域活動の盛んなまち(0.58)」となり、関係する分野のまちづくり評価の項目に最も相関がみられた。

仕事

仕事の満足度(問 63)とまちづくり評価に関する各設問(問 27~54)との相関係数を算出した結果、上位 5 項目は以下の通りとなった。



相関係数が最も高い項目は、「就労環境に恵まれたまち(0.42)」となり、関係する分野のまちづくり評価の項目に最も相関がみられた。